

平成25年度 事業報告概要

NPO法人「古川学人」が実施した、東アジア交流事業としての「日中交流ツアー」及び「日中文化交流シンポジウム」の開催は、吉野の意思を受け継ぎ、安易な政情に流されることのない地道な日中交流の場として未来につながる意義ある事業となった。

被災地支援事業である「石巻・川の上プロジェクト」への協力参加そして、ヤングジャパン応援プロジェクト「IVYyouth 講演会」の開催は、先進的な活動をしている他団体との積極的な連携を持つことにより、互いに協力し合う新しいネットワークを作り上げることに繋がった。特に、これらの事業を通して、古高学会等の若者達の参加を得ることができたことはこれからの若い人たちを取り込む方向性を見定める一助となった。NPO法人「古川学人」としてはこれらの事業展開を通して市民へのいっそうの浸透を図って行くべきと思われる。

吉野作造記念館指定管理事業としては、顕彰型、発信型、活用型の3つに分けて展開してきたが、特に、年2回開催の「企画展」においては大川副館長の指導の下、学芸員の資質の向上もありテーマの選定及び展示内容そして展示方法についても大きな進歩が見られた。入館者からも好意的な評価を得られるまでになってきている。また、今回、ミニ企画展として「守屋栄夫展」を開催したことは、単に地元の埋もれた人材に焦点を当てただけではなく、この地域がどのような歴史をたどりその中でどのような人材や思想をはぐくんできたかを再認識し、これからの地域の人材育成を考える上で良い資料を提示できたのではないと思われる。同じく当館職員による出前講座も、子供から大人までを対象に吉野にとられることなく政治や社会のあり方を積極的に考える機会を提供する地道な事業としてますます力を入れて行くべきと思われる。

第7回を迎えた「吉野ネットワーク交流事業・人材育成研修会」は、猪木先生をはじめとする著名な先生方や新進気鋭の先生方による各大学生への合宿研修会として、大きな成果を上げるまでになってきている。特に研修会参加者の中から、実社会活動において大きな成果を上げている人材を輩出するまでになり、この地域の枠を越えた人材育成事業が着実に実を結びつつあるが、この事業をいかに発展的に広げていくかが難しい課題となっている。

記念館職員が様々なアイデアをこらし企画運営している市民交流事業も、年間行事として定着し市民の参加も年々増えており、特に子供達にとっては記念館と身近に触れあえる機会となるだけでなく、将来子供達の意識の中に郷土の誇りである吉野への関心が芽生えるきっかけを作る場となっている。また、職員の自発性を高める大事な事業となっている。

以上のように様々な事業を通して、年々記念館に対する評価も上がってはいるが、事業及び研究の拡大は、運営上の大きな財政的負担となりつつある。来年度は大崎市による「吉野記念館」20周年事業への資金援助もあるが、指定管理料の見直しを含めて包括的な財政改革が喫緊の課題となっている。

特定非営利活動法人古川学人 専務理事 高橋 久之

平成25年度 NPO事業 事業報告

特定非営利活動法人 古川学人

| | 事業名 | 実績 | 時期 | 参加数 |
|----------|---|---|-------|-----|
| NPO事業 | 1 被災地支援事業 | <p>石巻・川の上プロジェクト支援事業(イシノマキ・カワノカミ大学) 東日本大震災の津波被害を受けた石巻地域への支援事業として協力しました。 「米俵百俵の精神」で、人づくりをするプロジェクト。</p> <p>※以下、全3回の講座へ参加協力しました。 第1回 古谷誠章(建築家、早稲田大学教授) 日程2013年5月4日(土) 第2回 進士五十八(農学博士、東京農業大学名誉教授・前学長) 日程2013年8月18日(日) 第3回 花井裕一郎(NPO法人オブセリズムCEO小布施町立図書館 まちとしょテラソ前館長) 日程2013年11月30日(土) 参加:高橋久之、大川真、佐々木威</p> | 通年 | 3 |
| | 2 東アジア交流事業 | <p>テーマ:「日中交流ツアー ～吉野作造と中国との交流を学び、現代に活かす～」</p> <p>内容: ・オリエンテーション・自己紹介 ・中国関連資料見学(孫文の書「天下為公」、黄興の書「鋤強」) ・交流会(トークカフェ形式での交流)</p> <p>協力: 宮城県日中友好協会、大崎市日中友好協会、おおさき地域創造協議会</p> | 4/14 | 19 |
| | | <p>日中文化交流シンポジウム「吉野作造と近代中国」 8月2日の内容 発表会 ・「中国「近世」イメージ再考-明代政治史研究の可能性」高橋亨氏 ・「清朝末期における中国の日本人」水盛涼一氏 ・「吉野作造と中国の革命家たち」郭連友氏 ・「中国における倫理学の成立と日本思想との交流」龔穎氏</p> <p>8月3日の内容 シンポジウム パネリスト ・「吉野作造の満蒙権益論」趙曉靚氏 ・「吉野作造と清末中国」銭昕怡氏 コメンテーター 大川真(当館副館長)</p> <p>交流会 共催:中華日本哲学会 後援:大崎市 大崎市教育委員会 メインスポンサー:(株)吉村商事</p> | 8/2・3 | 36 |
| | 3 ヤングジャパン応援プロジェクト | <p>IVY youth講演会 内容:大正デモクラシーの旗手吉野作造がグローバルな視野で活躍する多くの後進たちを育成したことを鑑みて、国際協力などで活躍する若い世代の活動を紹介します「ヤングジャパン応援プロジェクト」を開催しました。IVY youth活動紹介やトークショー、ディスカッションを行いました。 共催:IVY youth 後援:大崎市 大崎市教育委員会</p> | 1/26 | 22 |
| | 4 寄附金募集 | <p>当法人の活動内容および財務状況が分かるようチラシやホームページに情報公開をしました。ご寄附をいただいた方の中で氏名公表を希望する方については、館内表示・記念館だより・ホームページにて公開しています。</p> <p>寄附金合計額:1,194,230円</p> | 通年 | |
| 5 会員拡大事業 | <p>新会員4名が加入し、総会員は26名となりました。 (新会員:中鉢和三郎氏、石山敬貴氏、佐藤憲一氏、千葉基氏)</p> | 通年 | | |
| ①合計 | | | | 80 |

平成25年度 吉野作造記念館指定管理事業 事業報告

(No.1)

特定非営利活動法人古川学人

| | 事業名 | 実績 | 時期 | 参加数 |
|-----|---|--|---|----------------------|
| 顕彰型 | 1 企画展(前期) 「明治文化研究の奇人変人たち-吉野作造・尾佐竹猛・宮武外骨-」 | 展示構成: I 法学博士 吉野作造 II 無用学博士 尾佐竹猛 III 頓狂博士 宮武外骨 共催: 東京大学大学院法学政治学研究科附属明治新聞雑誌文庫 協賛: 博報堂(株) 後援: 大崎市 大崎市教育委員会 期間・人数内訳: 5月26~5月31日62名、6月1日~6月30日403名、7月1日~28日1363名 オープニング講演会 講師: 堅田剛氏(獨協大学教授) 演題: 「明治文化研究会の「三博士」——『西哲夢物語』とは何か——」 | 5/26~7/28 | 1,828 |
| | 2 企画展(後期) 「吉野作造と近代中国」 | 展示構成: I 吉野の中国関係ネットワーク II 吉野の中国論と国際情勢 III 青年世代の日中交流 IV 宮城県の日中交流史 共催: 東北大学史料館 後援: 大崎市、大崎市教育委員会 オープニング講演会 講師: 永田英明氏(東北大学史料館 准教授) 演題: 「学都仙台と中国人留学生」 日程: 10月27日25名(期間中への入館者に含む) | 10/27~12/28 | 1,287 |
| | 3 ミニ企画展 守屋栄夫展 | 大崎市古川富永出身で元内務官僚・元衆議院議員の守屋栄夫の企画展。吉野作造と協力し、朝鮮新聞発刊に貢献したことや労働問題に取り組んだこと等を紹介した。 | 1/12~ | |
| | 4 常設展 大幅入れ替え | 吉野作造の直筆原稿や関係者と交わした手紙、書簡等、約27点を新たに展示し、開館以来の大幅入れ替えを行いました。また、中央ガラスケースは定期的にテーマ展示をする専用のコーナーを設置しました。 | 1/12~ | |
| | 5 吉野作造 講座 | 春季講座: 「吉野作造と明治文化研究-吉野さんは奇人変人?-」 講師: 大川真(当館副館長) 第1回 山口昌男を偲んで 15名 第2回 珍奇さへの愛情と合理的精神 21名 第3回 「翻訳」の問題 20名 第4回 明六社と吉野作造 21名 合計77名 秋季講座: 「吉野作造と近代中国」 講師: 大川真(当館副館長) 第1回 近代日本の中国観① 18名 第2回 近代日本の中国観② 20名 第3回 吉野作造の中国観① 26名 第4回 吉野作造の中国観② 27名 | 4/21 4/29 5/12 5/19 11/10 11/16 12/1 12/15 | 77 91 |
| | 6 公募論文 募集事業 (授賞式・ 記念講演) | 授賞式・受賞者講演会 参加者: 24名 最優秀賞受賞者: 趙 星 銀 氏 受賞論文: 「「高度成長」反対 —藤田省三と「一九六〇年」以後の時代—」 『思想』2012年2月号掲載論文 優秀賞受賞者: 佐藤 太久磨 氏 受賞論文: 「「国際民主主義」から「東洋 Monroe 主義」へ —吉野作造の国際政治思想—」 『ヒストリア』2010年6月号掲載論文 審査委員: 千葉真(国際基督教大学教養学部教授) : 村井良太(駒澤大学法学部准教授) : 大川真(当館副館長、国際日本文化研究センター共同研究員) | 11/17 | 24 |
| | 7 「吉野作造研究 第10号」発行 | 主な掲載内容 ・企画展 オープニング講演 ・第14回 読売吉野作造賞 受賞者講演会 ・第3回 吉野作造研究賞 受賞者講演会 ・2013年度 企画展紹介、事業活動報告、史料紹介 発行部数: 250部(大学・研究機関・行政などに配布) 吉野博士に関する資料収集・研究調査業務 | 3/31 | |
| | 8 資料収集 保存・展示 研究調査 活用事業 | ・資料購入 資料保存・管理・展示に関わる業務 ・日常の温湿度・照度管理 ・害虫駆除対策 ・情報検索システム更新 | 通年 | |
| | | | ①合計 | 3,349 |

| | 事業名 | 実績 | 時期 | 参加者数 |
|-----|---------------------------|---|---------------------|------|
| 発信型 | 1 教育普及事業 | 出前講座・講演事業(学校・団体向けの出張講座・講演) 4/18 大崎市立古川中学校205名 7/12 古川ロータリークラブ45名 7/26 大崎地区社会教育研究会(館内講話)23名 8/1 友愛労働歴史館120名 8/8 大崎市議会議員「日本国憲法と地方政治」15名 8/20 大崎倫理法人会 37名 8/21 大崎市立古川中学校 30名 9/21 吉野作造を学ぶ会「吉野作造と中国(支那)及び現在の中国」18名 10/30 いきいき学園大崎校 28名 11/2 専修大学・シンポジウム 38名 11/1 大正デモクラシーの旗手 吉野作造とは (主催 河合塾エンリッチ講座)、大宮市 17名 11/29 政治学っていったい何だろう? 大崎市立古川中学校第二学年キャリアポスターセッション、大崎市 125名 2/20 吉野作造の中国観、 奈良県「日本と東アジアの未来を考える委員会」 思想史研究会、東京都 2/25 宮城いきいき学園 講義「吉野作造から日中友好を学ぶ」、 宮城県社会福祉協議会、大崎市 47名 | 通年 | 748 |
| | 2 第7回吉野ネットワーク交流事業 人材育成研修会 | 若手学生の人材育成と吉野研究者のネットワーク構築を目的とした合宿研修会。 テーマ「第一次世界大戦について」 8/30(金)基調講演「第一次世界大戦下における日本の戦争経験と将来に対する期待」 講師 ヤン・シュミット氏(ポーfum大学専任講師) 32名 8/31(土)講義「『欧州大戦』の記憶-第一次世界大戦と日本人-」 講師 奈良岡聰智氏 (京都大学大学院法学研究科准教授) 書評会 清水唯一朗氏(慶應義塾大学総合政策学部准教授) 9/1(日)成果報告会 22名 全体54名 | 8/30~9/1 | 54 |
| | 3 第14回読売・吉野作造賞 受賞者講演会 | 講師:秋田茂氏(大阪大学文学研究科教授) 演題:「綿業が紡ぐ世界史-日本郵船のボンベイ航路-」 日時:11月3日(日)14時~ 受賞作:『イギリス帝国の歴史』中央公論新書 | 7/12贈賞式 11/3記念講演 | 36 |
| | 4 記念館だより発行(第22号) | 主な掲載内容: 史料紹介、2014年度の行事案内、第3回吉野作造研究賞受賞者講演会、2013年度企画展紹介・各種事業紹介、団体見学・出前講座、尚綱学院大学・宮崎中学校、古川中学校、清滝中学校、古川第四小学校、古川第一小学校、北浦小学校、古川高等学校、アンケート、寄贈史料一覧 発行部数:1,000部 | 3月下旬発行 | |
| | 5 インターネット活用 | 当館ホームページ、ユーチューブ(動画)、フェイスブック、ツイッターを使った事業情報等の情報発信を積極的に取り組んだ。 ①ホームページ年間アクセス数 11,167件(1日平均30件) 内訳: 4月(954件)、5月(1064件)、6月(959件)、7月(973件)、8月(942件) 9月(895件)、10月(841件)、11月(789件)、12月(845件)、1月(1193件)、2月(874件)、3月(838件) ②フェイスブック登録者数:116名 ③ツイッター:フォロワー164件(自分の画面に他者の情報が表示される):フォロワー140件(他者の画面に自分の情報が表示される) | 通年 | |
| ②合計 | | | | 838 |

平成25年度 吉野作造記念館指定管理事業 事業報告

(No.3)

特定非営利活動法人 古川学人

| 事業名 | | 実績 | 時期 | 参加者数 |
|--------------------------------|---|---|--|-------|
| 活用型 | 1 市民交流事業 | フリーマーケット 4～7月の毎週日曜日に当館前広場でフリマを実施。人が集まる環境作り。 出店数:72件 4/7(0件)、4/14(11件)、4/21(0件)、4/28(12件)、 5/5(14件)、5/12(4件)、5/19(4件)、5/26(9件)、 6/2(2件)、6/9(6件)、6/16(3件)、6/23(4件)、6/30(3件)、 7/7、7/14、7/21、7/28 | 4/7、4/14、4/21 4/28、5/5、5/12、 5/19、5/26、6/2、 6/9、6/16、6/23、 6/30、7/7、7/14、 7/21、7/28 | 72 |
| | | GWイベント ・おたのしみ劇場(マコロン、ワッフルちゃん、王様による寸劇) ・昔の遊びコーナー(魚釣り、ベイゴマ、紙ヒコーキ等) ・AR絵画造形教室(アサリのストラップ、オリジナルレリーフ) ・ユラユラこいのぼり(紙で作るユラユラこいのぼり作り) | 5/5 | 758 |
| | | 子供の人権を考えるワークショップ 講師:森田明彦氏(尚絅学院大学総合人間学部現代社会学科教授) 内容:絵を描きながら子供の人権を考えるワークショップを実施 | | |
| | | 夏休み自由研究サポートし隊! 参加者:5名(小学生) 自由研究の対象テーマ:「明治・大正・昭和時代の大崎市の歴史」 :「大崎市出身の偉い人」 :「明治時代や大正時代の歴史」 | 8/6～8/9 | 5 |
| | | わっくわく教室 ・ランタン作り(カワイ造形教室:新田亜紀子先生) ・旧志田郡めぐりツアー(定員不足により中止) | 9/21 | 17 |
| | | クリスマス会 吉野とキリスト教の関わりやクリスマスを楽しんでもらう企画を実施 (寸劇、リース作り、クリスマスカード作り、展示&クイズ) | 12/22 | 204 |
| | | 生誕イベント 1/29は生誕136年、開館19年の記念日のため、日頃からの感謝の気持ちをこめ入館料無料で見学できるサービスを実施。 | 1/29 | 107 |
| 2 サービス向上事業 | YOSHINOサポーターの募集(広告協賛) ・Aコース(@50,000円) 実績9社 ・Bコース(@30,000円) 実績12社 賛同企業には、入口看板や広告掲載のサービス有り。 | 通年 | | |
| | メインスポンサー募集 1口100,000円 実績2社(博報堂、吉村商事) 事業ごとにメインスポンサーを募集し、事業の広報物や入口看板等に社名を掲載する。 | 通年 | | |
| | 企画展示室の活用事業 地域の文化・芸術振興を目的とし、当館の企画展示室を使った展示をする団体を公募し活用してもらいました。 【実績】 鹿島台写友会(写真展示) 4/27～5/2 人数63名 樹石展(書の展示) 9/3～9/10 人数205名 | 通年 | 268 | |
| | アンケートの実施 アンケート用紙やハガキ、ホームページを通じて、常時お客様の声を収集しいただいた意見を運営に反映させ改善をしています。また、アンケート内容及び改善内容については、館内及びホームページ、記念館だよりにて情報公開をしています。 | 通年 | 131 | |
| | 休憩ラウンジの活用(健康増進事業) NPO法人ハッピーート大崎の共催でラウンジを活用。 市民が休憩する場を提供し、無料での健康相談を行いました。 | 通年 | | |
| ③合計 | | | | 1,562 |
| 事業参加者(①～③の合計) ※入館者とは一致しません。 | | | | 5,284 |

平成25年度 吉野作造記念館指定管理事業 事業報告

(No.4)

特定非営利活動法人古川学人

| 事業名 | 実績 | 社名 | 掲載日 |
|-------------------------|--|-----------|--------|
| マスコミ 掲載実績 (合計51件) | 講座「吉野作造と明治文化研究～吉野さんは奇人変人？」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 4月4日 |
| | 講座「吉野作造と明治文化研究～吉野さんは奇人変人？」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 4月6日 |
| | 「吉野作造と中国交流」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 4月8日 |
| | 「学人の塔がリニューアル」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 4月14日 |
| | 「吉野作造と中国交流」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 4月20日 |
| | 芸術文化振興事業「鹿島台写真会の写真展」の情報が掲載 | 大崎タイムス | 4月29日 |
| | 「GWイベント」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 5月1日 |
| | 「GWイベント」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 5月4日 |
| | 「GWイベント」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 5月6日 |
| | 市民交流事業「吉野作造記念館前広場でのフリーマーケット開催」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 5月9日 |
| | 「収蔵資料目録発行」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 5月11日 |
| | 「収蔵資料目録発行」の情報が掲載 | 朝日新聞 | 5月14日 |
| | 「収蔵資料目録」の情報が掲載 | 読売新聞 | 5月15日 |
| | 「GWイベント」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 5月18日 |
| | 「収蔵資料目録発行」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 5月23日 |
| | 企画展「明治文化研究の奇人変人たち -吉野作造・尾佐竹猛・宮武外骨-」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 5月26日 |
| | 「GWイベント」の情報が掲載 | マイタウンふるかわ | 5月31日 |
| | 企画展「明治文化研究の奇人変人たち -吉野作造・尾佐竹猛・宮武外骨-」の情報が掲載 | マイタウンふるかわ | 5月31日 |
| | 「吉野作造記念館でのJOYCEコンサート」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 6月1日 |
| | 企画展「明治文化研究の奇人変人たち -吉野作造・尾佐竹猛・宮武外骨-」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 6月2日 |
| | 「吉野作造記念館でのJOYCEコンサート」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 6月9日 |
| | 企画展「明治文化研究の奇人変人たち -吉野作造・尾佐竹猛・宮武外骨-」の情報が掲載 | 読売新聞 | 6月19日 |
| | 「自由研究サポートし隊」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 7月19日 |
| | 「日中交流シンポジウム」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 7月21日 |
| | 「日中交流シンポジウム」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 7月27日 |
| | 「日中交流シンポジウム」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 8月5日 |
| | 「日中交流シンポジウム」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 8月8日 |
| | 「自由研究サポートし隊」および「学習ルーム貸出」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 8月15日 |
| | 「自由研究サポートし隊の自由研究展示」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 8月18日 |
| | 「吉野ネットワーク交流事業 人材育成研修会」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 8月19日 |
| | 芸術文化振興事業「高橋樹石の世界」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 9月3日 |
| | 「吉野ネットワーク交流事業 人材育成研修会」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 9月3日 |
| | 「わっくわく教室 ピカピカランタン作り」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 9月4日 |
| | 芸術文化振興事業「高橋樹石の世界」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 9月5日 |
| | 「吉野作造を学ぶ会」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 9月23日 |
| | 「吉野作造を学ぶ会」の情報が掲載 | 河北新報 | 9月24日 |
| | 「世界のコイン展」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 9月26日 |
| | 「博物館学芸員実習生による展示」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 9月27日 |
| | 「吉野作造を学ぶ会での講演」情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 10月9日 |
| | 企画展「吉野作造と近代中国」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 11月5日 |
| | 企画展「吉野作造と近代中国」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 12月15日 |
| | 新資料紹介の情報(吉野の直筆原稿・手紙)が掲載 | 毎日新聞 | 12月20日 |
| | 「クリスマス会」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 12月27日 |
| | 「常設展リニューアル」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 1月4日 |
| | 「新資料展示(吉野作造直筆史料および手紙)」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 1月11日 |
| | 「守屋栄夫展」の情報が掲載 | 毎日新聞 | 1月12日 |
| | 「守屋栄夫展」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 1月22日 |
| | IVY youth講演会「躍動する日本の若者たち」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 1月23日 |
| | 「IVY youth講演会」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 1月28日 |
| | 「先人を訪ねて 吉野作造」にて情報が掲載 | 読売新聞 | 1月30日 |
| | 「NPO法人みやぎ生涯学習指導・支援センターでの講演会」の情報が掲載 | 大崎タイムス社 | 2月26日 |